

高松宮賜杯全日本軟式野球大会(1部)での長崎県チーム戦績表 第27回(昭和58年)以降は県優勝チームも記載

回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績	回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績
12	43	諫早クラブ(諫早) 【一】 0-2 国際観光ホテル・ニュー名古屋	28	59	轟クラブ(北高来) ◆準優勝◆ 【一】 4-0 専売地方局(福島) 【二】 3-0 川鉄コーラルズ(兵庫) 【準】 4-0 五大化学(山口) 【決】 0-1 鷺宮製作所(埼玉)
17	48	有明町クラブ(南高来) 【一】 2-4 フジクラブ(静岡)			
27	58	海王(対馬) 九州ブロック(鹿児島)で敗退			



第28回大会準優勝の轟クラブ

昭和59年8月21日 新潟市

(監督)山口 義春

東川 静夫・伊東 章義・川田 順一
久世 文彦・田端 浩之・山口 玉留
中山 勝・道副 直・浜崎 繁
峰松 俊蔵・伊東 康隆・津田 良信
前田 正文・立岩 広明・西尾 清隆
山口 辰美・谷端 和豊・芦塚 勝
野副統一郎・東 元幸

回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績	回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績
29	60	西海クラブ(佐世保) 九州ブロック(熊本)で敗退	31	62	生月体協(県北) 九州ブロック(福岡)で敗退
30	61	海王(対馬) 九州ブロック(大分)で敗退	32	63	N T T長崎(長崎) 九州ブロック(宮崎)で敗退

◆平成元年より全国大会の参加枠が16から32と倍になる◆

色塗りは九州大会を経ずに全国大会へ

回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績	回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績
33	元	長崎県共済連(長崎) ◆ベスト8◆ 【一】 6-1 旭川市消防局(北海道) 【二】 2-0 八郎潟町役場(秋田) 【準々】 4-8 TDK(千葉)	49	17	厳原マリナーズ(対馬) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 0-9 クライム(静岡)
34	2	豊玉クラブ(対馬) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 6-7 (14回)桃華楼クラブ(栃木)	50	18	ALL生月(平戸) 九州ブロック(佐賀)で勝利 【一】 3-2 ノメリコンズ(滋賀) 【二】 1-2 四国明治牛乳クラブ(香川)
35	3	諫早信用金庫(諫早) 九州ブロック(熊本)で敗退	51	19	長崎県支払基金(長崎) 九州ブロック(福岡)で敗退
36	4	西九州三菱自販(長崎) 九州ブロック(佐賀)で敗退	52	20	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(宮崎)で勝利 【一】 1-4 山形市役所(山形)
37	5	愛野町体協(南高来) 九州ブロック(福岡)で敗退	53	21	アリアケジャパン(県北) 九州ブロック(鹿児島)で勝利 【一】 1-3 経堂農大大通りクラブ(東京)
38	6	松浦市役所 九州ブロック(宮崎)で勝利 【一】 3-2 青森県庁(青森) 【二】 1-7 オール篠崎(東京)	54	22	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(大分)で勝利 【一】 6-5 中村メッツOBクラブ(開催地) 【二】 3-6 BRAVERS(兵庫)
39	7	J A信連(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	55	23	栲南原(大村) 九州ブロック(熊本)で敗退
40	8	福江球友会(福江) 九州ブロック(大分)で敗退	56	24	支払基金クラブ(長崎) 九州ブロック(福岡)で敗退
41	9	諫早信用金庫(諫早) 九州ブロック(熊本)で勝利 【一】 0-2 NECエンジニアリング(東京)	57	25	中村クラブ(大村) 九州ブロック(鹿児島)で敗退
42	10	佐世保クラブ(佐世保) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 3-4 キッセイ薬品工業(長野)	58	26	JF長崎漁連野球部(諫早) 九州ブロック(佐賀)で勝利 【一】 0-2 BABE RUTH(滋賀)
43	11	浜屋百貨店(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で勝利 【一】 0-2 タブロス(秋田)	59	27	JF長崎漁連野球部(諫早) 九州ブロック(福岡)で敗退
44	12	九電長崎支店(長崎) 九州ブロック(福岡)で敗退	60	28	JF長崎漁連野球部(諫早) 九州ブロック(宮崎)で勝利 【一】 3-2 佐藤カプセラーズ(奈良) 【二】 3-6 ウィングス倶楽部(埼玉)
45	13	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(宮崎)で敗退	61	29	長崎サニクリーン(東彼杵) 九州ブロック(鹿児島)で勝利 【一】 0-3 富山日野自動車(富山)
46	14	長崎市役所(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	62	30	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(大分)で敗退
47	15	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(大分)で勝利 【一】 1-4 MBCカザ(長野) = 優勝	63	元	鹿町バンビーズ(県北) 九州ブロック(熊本)で敗退
48	16	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(熊本)で敗退			

高松宮賜杯全日本軟式野球大会(2部)での長崎県チーム戦績表 第27回(昭和58年)以降は県優勝チームも記載

回	年	長崎県代表チーム	全国大会での戦績	
2	33	相浦食販(佐世保) ベスト4	【一】 10-0 幌別富士鉄社宅(北海道)	【準】 0-2 富士工業宇都宮(栃木) = 優勝
			【二】 1-0 熊野倶楽部(大阪)	
4	35	長崎西高クラブ(長崎)	【一】 0-2 田村電機KK(山形)	
11	42	浜崎水産(長崎)	【一】 4-1 広川KK(岐阜)	【二】 0-8 沖電気工業(埼玉)
12	43	海上自衛隊大村 【一】 0-7 カワニ(岐阜)	 <p>高松宮賜杯第21回全日本大会(2部)優勝の上対馬漁協チーム 昭和52年9月 栃木県宇都宮市 (監督)辻 三則 (主将)武末 俊紀 (投手)財部 清志・大浦 康伸 飛田 真宏 (捕手)大浦 正行・扇 康一・犬束 俊治 (内野手)扇 千摩男 扇 秀雄・扇 寿光・広田 博実・小島 俊実・菅野 修 (外野手)梅野 時吉 園田 日出男・武末 芳次・菅野 正昭・比田勝 政人・比田勝 安之</p>	
13	44	中村クラブ(大村) 【一】 10-1 ライナーズ(長野) 【二】 1-6 豊田クラブ(山口)		
21	52	上対馬漁協 優勝 【一】 8-1 札幌市水道局 【二】 8-4 岸和田市役所(大阪) 【準】 7-4 ニューモンスターズ(鳥取) 【決】 3-1 河合楽器ファイターズ(静岡)		
23	54	轟クラブ(北高) ベスト4 【一】 3-0 日本石油化工(東京) 【二】 1-0 石田病院(北海道) 【準】 2-4 広島大州電報電話局(広島)		
25	56	ファイヤーバード(上五島) 【一】 5-8 誠邦園クラブ(秋田)		

回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績	回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績
27	58	崎山クラブ(福江) 九州ブロック(宮崎)で敗退	30	61	九州電力長崎(長崎) 九州ブロック(熊本)で敗退
28	59	小浜町クラブ(南高来) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	31	62	NTT長崎(長崎) 九州ブロック(長崎)で敗退
29	60	波佐見宿クラブ(東彼杵) 九州ブロック(大分)で敗退	32	63	西部ガス(長崎) 九州ブロック(宮崎)で敗退

◆平成元年より全国大会の参加枠が16から32と倍になる◆

色塗りは九州大会を経ずに全国大会へ

回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績	回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績
33	元	西海クラブ(佐世保) 九州ブロックで勝利 【一】 3-4 神岡部品(岐阜)	50	18	ドルフィンズ(諫早) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 3-8 キングドルフィン(山形)
34	2	上対馬ライオンズ(対馬) 九州ブロック(福岡)で敗退	51	19	松尾総業野球クラブ(県南) 九州ブロック(佐賀)で敗退
35	3	九州電力長崎(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	52	20	森山クラブ(諫早) 九州ブロック(福岡)で勝利 【一】 9-10 UNITY(東京)
36	4	番クラブ(佐世保) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 3-1 ジョーカー(埼玉) 【二】 0-9 テンプテーション(香川)	53	21	ZERO(西海) 九州ブロック(熊本)で敗退
37	5	スカイホテル(長崎) 九州ブロック(大分)で敗退	54	22	長工クラブ(長崎) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 4-12 チロリンズ(長野)
38	6	SNAP(諫早) 九州ブロック(佐賀)で敗退	55	23	ナインズ(県北) 九州ブロック(大分)で敗退
39	7	ナインズ(県北) 九州ブロック(熊本)で敗退	56	24	島原Water Seven 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 1-3 ニューヤンキース(岩手)
40	8	西海棒球団(西彼杵) 九州ブロック(宮崎)で敗退	57	25	小川仏具クラブ(諫早) 九州ブロック(大分)で敗退
41	9	VICTORIOUS(佐世保) 九州ブロック(福岡)で敗退	58	26	長崎サニクリーン(東彼杵) 九州ブロック(宮崎)で勝利 【一】 5-6 チロリンズ(長野)
42	10	巖原マリナーズ(対馬) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	59	27	勝本北星(壱岐) 九州ブロック(佐賀)で勝利 【一】 5-4 SUN電装(高知) 【二】 3-4 (12回)富山GOLD LIONS(富山)
43	11	エアウィング(大村) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 0-8 モンペリねもと(茨城)	60	28	S・C(島原) 九州ブロック(鹿児島)で敗退
44	12	安中クラブ(島原) 九州ブロック(大分)で敗退	61	29	加津佐タイガース(県南) 九州ブロック(熊本)で敗退
45	13	郷ノ浦ヤンキース(壱岐) 九州ブロック(佐賀)で敗退	62	30	県立大学軟式野球部(佐世保) 九州ブロック(福岡)で敗退
46	14	ATMB・アトム(諫早) 九州ブロック(熊本)で敗退	63	31	加津佐タイガース(県南) 九州ブロック開催県で全国へ 【一】 0-10 キャス(株)クラブ(広島)
47	15	あすか電機(長崎) 九州ブロック(宮崎)で敗退			
48	16	ドルフィンズ(諫早) 九州ブロック(福岡)で敗退			
49	17	長崎市上下水道局 九州ブロック(鹿児島)で敗退			

昭和21年に始まった国体や天皇賜杯大会を頂点として各地で各種大会が開催されていたが、更に中央大会開催の要望により昭和25年に東(西)日本軟式野球大会が開催された。

第1回西日本大会は大分で開催。準硬式球使用の第4回大会から名称を『西日本準硬式野球大会』と改称。25~26チーム参加大会として西日本府県の持ち回り開催で行ない、39年第15回大会で発展的解消。翌年から開催することが決まった『常陸宮賜杯全日本準硬式大会』に統合された。

この常陸宮賜杯準硬式も、各都道府県持ち回り開催の50チーム前後参加で開催されていたが、準硬式野球の衰退により昭和52年第13回大会をもって終焉をむかえた。

常陸宮杯大会が解消したことから代わりの軟式野球大会開催をの要望でBC級を対象とした『東(西)日本軟式野球大会』を昭和54年から開催し、高松宮賜杯と同様にB級を1部、C級を2部と呼称して別個開催とした。

東西と分けたのは、全国大会ではチームの経費負担が大きいためであり西日本は近畿以西の23府県のブロック持ち回りが原則だが近年では国体リハーサル大会として、国体開催県から重宝がられ国体開催前年に開催希望する府県が増えている。

本県での開催は、準硬式時代の昭和38年第14回大会を長崎市と諫早市で開催。軟式となってから60年の第7回1部大会を大橋、三菱球場と諫早の3会場で開催し諫早クラブが優勝。(右写真)

平成13年は第23回2部を、平成21年には第31回1部を開催し、『長崎がんばらんば国体』前年の平成25年は国体使用5会場で、国体リハーサルの第35回2部大会を主管した。

昭和60年 第7回大会優勝の諫早クラブ

- (監督)鮎川 博 (主将)山口 伸一
 (投手)山口 智弘、西山 俊彦
 (捕手)石丸 裕二 (内野手)伊東 伸二
 高藤 義弘、大久保 俊則、野田 一男
 前田 真一、川原 孝志、川原 智弘
 峰原 利光、藤山 博記
 (外野手)井原 尊幸、野田 誠、野田 俊之
 田中 伸義、永江 仁、早田 靖夫



順位	チーム番号	チーム名	勝	敗	勝率	対戦相手	勝
1	S25	潜龍炭鉱	0	9	33	長崎刑務所	0
2	26	日鉄御橋炭鉱	2	10	34	日本冷熱工業	0
3	27	〃	0	11	35	佐世保市役所	2
4	28	(棄権)	0	12	36	親和銀行	0
5	29	十八銀行	2	13	37	日本冷熱工業	0
6	30	長崎機械工具	2	14	38	〃	1
7	31	〃	1	15	39	松島炭鉱大島	0
8	32	日鉄北松	1				

順位	チーム番号	チーム名	勝	敗	勝率	対戦相手	勝
1	S40	西肥自動車	0	8	47	親和銀行	0
2	41	〃	0	9	48	親和銀行	0
3	42	十八銀行	1	10	49	長崎県庁	0
4	43	三菱長崎造船所	0	11	50	西海クラブ	0
5	44	長崎県庁	2	12	51	親和銀行	1
6	45	〃	1	13	52	〃	2
7	46	〃	0				

回	年	開催地	県代表チーム	戦績	回	年	開催地	県代表チーム	戦績	回	年	開催地	県代表チーム	戦績
1	54	京都	長崎無線電報局	○●	15	5	滋賀	JA長崎信連	○○③	31	21	長崎	ALL生月	○●
2	55	徳島	大村市役所	●	16	6	和歌山	西部ガス長崎	○○○★				TEAM橋口	●
3	56	島根	今福メッツ(松浦)	●	17	7	佐賀	舛田グループ	●				御厨ベイスターズ	●
4	57	大阪	平戸クラブ	●	18	8	香川	アイケン医院マッスルズ	○○○④				長崎市役所	●
5	58	宮崎	海自佐世保造修所	○○③	19	9	奈良	鹿町バンビーズ	○●	32	22	山口	TEAM橋口	●
6	59	鳥取	鴻ノ巣クラブ	●	20	10	愛媛	佐世保クラブ	○○○★	33	23	奈良	たちばな信用金庫	●
7	60	長崎	諫早クラブ	○○○◎	21	11	大分	けんみん(佐世保)	●	34	24	宮崎	TEAM橋口	●
			長崎県経済連	○○③	22	12	兵庫	たちばな信用金庫	○○○④	35	25	徳島	舛田グループ	○○③
			上五島ブローズ	○○③	23	13	高知	松石電設	●	36	26	和歌山	JF長崎漁連野球部	○⑧
8	61	沖縄	小浜クラブ	○○○④	24	14	山口	たちばな信用金庫	○○③	37	27	熊本	長崎サニクリーン	●
9	62	高知	松浦市役所	○○③	25	15	福岡	九州電力長崎支店	○○○○★	38	28	大阪	JF長崎漁連野球部	●
10	63	熊本	NTT長崎	○●	26	16	山口	TEAM橋口	○○③	39	29	広島	たちばな信用金庫	●
11	元	福岡	南串野球部	○●	27	17	京都	ニューインペリアルレッズ	●	40	30	宮崎	長崎サニクリーン	○○○○★
12	2	広島	大村市役所	○○③	28	18	宮崎	アリアケジャパン	●				(次年度にA級昇格)	
13	3	岡山	平戸島クラブ	●	29	19	愛媛	西九州三菱自販	●	41	元	滋賀	舛田グループ	●
14	4	鹿児島	ソニー長崎	○●	30	20	大阪	TEAM橋口	●	42	2	香川		

昭和21年に始まった国体や天皇賜杯大会を頂点として各地で各種大会が開催されていたが、更に中央大会開催の要望により昭和25年に東(西)日本軟式野球大会が開催され、第4回大会から準硬式球使用の大会が15回大会(S.39)まで続いてきたが、全国大会として翌年から開催することが決まった『常陸宮賜杯全日本準硬式大会』に統合された。

この常陸宮賜杯準硬式も各都道府県持ち回りで50チーム前後の参加で開催されていたが、準硬式野球の衰退により昭和52年第13回大会をもって終焉をむかえた。

常陸宮杯大会が解消したことから代わりの軟式野球大会開催の要望でBC級を対象とした『東(西)日本軟式野球大会』を昭和54年から開催し、高松宮賜杯と同様にB級を1部、C級を2部として別個開催とするようになった。

軟式になったの本県での開催は60年第7回1部大会。諫早クラブが優勝した。平成13年は第23回2部、平成21年には第31回1部を開催すると、『長崎がんばらんば国体』前年の平成25年は国体使用5会場で国体リハーサルの第35回2部を主管開催し、翌年の第69回国民体育大会(32チーム)の運営に備えた。

西日本軟式野球大会(2部)での長崎県代表チームの戦績					準優勝(★)=1回 ベスト4(㊟)=1回									
回	年	開催地	県代表チーム	戦績	回	年	開催地	県代表チーム	戦績	回	年	開催地	県代表チーム	戦績
1	54	岡山	オール富江	〇〇㊟	17	7	広島	飯盛クラブ	〇〇㊟	30	20	香川	ブルーエンジェル	〇〇㊟
2	55	福岡	島原市役所	〇〇㊟	18	8	大阪	飯盛クラブ	●	31	21	岡山	南有馬クラブ	〇●
3	56	鹿児島	タイガース	●	19	9	鳥取	松石電設	●	32	22	佐賀	県立大学軟式野球部	●
4	57	大阪	口之津ヤングス	〇●	20	10	熊本	松石電設	●	33	23	兵庫	JF長崎漁連野球部	●
5	58	滋賀	鴻ノ巣クラブ	〇〇㊟	国体リハで九州は2チーム参加			VICTORIOUS	●	34	24	高知	島原市役所野球部	●
6	59	奈良	佐世保市水道局	●	21	11	宮崎	九電長崎支店	●	35	25	長崎	長崎Canon	〇〇㊟
7	60	愛媛	生月体協	●	22	12	島根	支払基金	〇●				島原Water Seven	〇●
8	61	佐賀	愛野クラブ	〇●	23	13	長崎	千々石野球クラブ	〇●				海自・大村	●
9	62	京都	電々大和	●				ATMB	〇●				野球屋 吉井クラブ	●
10	63	和歌山	南串野球部	〇〇〇〇★				長崎県支払基金	〇㊟	36	26	山口	島原Water Seven	●
11	元	山口	エンジェルズクラブ	●	24	14	大阪	長崎県支払基金	〇㊟	37	27	滋賀	Beams	●
12	2	大分	松浦クラブ	●	25	15	徳島	あすか電機	〇●	38	28	沖縄	大島ファイターズ	●
13	3	兵庫	九電相浦	●	26	16	岡山	ATMB(アトム)	〇㊟	39	29	徳島	ユニバース	●
14	4	徳島	NTT大和	〇〇㊟	27	17	鹿児島	ナインズ	●	40	30	鳥取	ヤマト運輸	●
15	5	沖縄	吾妻町体協	●	28	18	奈良	佐世保市役所	●	41	元	鹿児島	テクノブレイク	●
16	6	高知	浜屋百貨店	●	29	19	福岡	千々石野球クラブ	〇●	42	2	広島		

西日本大会は昭和54年から始まったが2部県代表後に、1部の代表にもなったのは下記の5チーム。

◆波佐見鴻ノ巣クラブ…58年2部で2勝のベスト8。翌年B級昇格し2年連続の代表は初戦敗退。その後の全国大会出場はない。

◆生月体協(A L L 生月)…60年2部で初出場も初戦敗退。62年高松宮賜杯1部県代表も九州で敗退。19年後の平成18年高松宮賜杯1部では全国1勝。21年西日本1部県大会のベスト4で、地元開催の西日本大会では他3チームが初戦敗退する中で、貴重な1勝を挙げた。

◆南串野球部…63年西日本2部初出場で4勝の準優勝すると、翌年の1部でも代表となり1勝を挙げたが、その後の全国舞台は無い。

◆松石電設…平成9～10年と連続で西日本2部代表も白星が挙げられず、13年西日本1部も初戦敗退。高松宮賜杯大会は県代表無し。

◆JF長崎漁連野球部…県大会初出場の23年西日本2部代表となったが初戦で8-9惜敗。26年西日本1部で初白星を挙げ、同年高松宮賜杯1部でも全国進出したが1点差の敗退。29年に県A級昇格。

その他、西日本2部県代表チームが高松宮杯賜杯1部の県代表になったのは、浜屋百貨店、九電長崎支店、支払基金などがあるが、九州ブロック突破できず全国大会に進出していない。